

中学校〈生徒会〉での実践報告

「生徒会を中心としたボランティア活動を継続的に実施 ～全校生徒が平和の意味を考える～」



品川区立荏原第六中学校での「ユニセフ学習」の取り組みを、加瀬昌子先生に報告していただきました。

本校では「ハートウォーミング六中」という生徒会役員を中心としたボランティアグループに全校生徒の約半数が所属し、校内や地域で様々な活動をしています。ユニセフ募金活動は、毎年地域祭りに出店する形で参加し、その事前学習として1年生を対象にユニセフ学習会を実施しています。

ユニセフ学習会

日本ユニセフ協会へ講師派遣の依頼をし、中学1年生を対象に「ユニセフ学習会」を行いました。

内容

- *「ユニセフと地球のともだち」の視聴
- *水がめを運ぶ体験
- *世界の現状やユニセフの活動（少年兵・栄養指導など）についての話を聞く

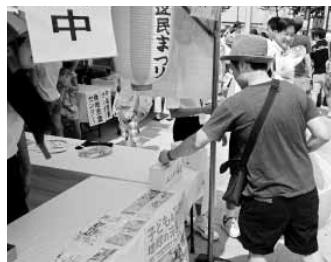


自分よりも年少の子どもたちが学校へも行けずわずかなお金を稼ぐため、今日を生きるために希望のない生活をしている現状を知り『平和への願い』『何が必要なのか』を考える契機となりました。

ユニセフ募金活動

7月に行われる地域祭りに、ハートウォーミング六中（生徒会役員を中心としたボランティア活動）として出店しました。ジュース販売による売上をユニセフ募金にするほか、日本ユニセフ協会からの貸出パネルの展示やリーフレット配布をしました。

販売に必要な物品（ジュース・氷・紙コップ等）は、本校PTAと地域センターにご協力をいただき購入。ユニセフの活動についての紹介もあわせた募金活動ということで、たくさんの方からご協力を頂きました。



ユニセフハウス訪問

ユニセフハウス（東京・品川）見学も兼ね、生徒会役員が地域祭りでの募金をユニセフハウスに届けました。ハウスに展示されているパネルや銃のレプリカを見て、世界の子どもたちの現状を改めて認識することができました。



平和を考える全校集会

ユニセフ募金活動報告および地雷のレプリカを使った学習会を実施。地雷自体のコストとそれを撤去するためにかかる莫大なコストとの比較、地雷の種類と威力、被害を受けた子どもたちの話を中心に、平和について全校生徒で考えました。

●まとめ●

毎年継続的に活動をすることで、生徒も『自分たちもユニセフ活動の一旦を担っている』という意識をもつことができます。

自分のことだけでなく『人のために何ができるのか』を考えるための大切な学習となっています。